

ねん
2020年とんだばやしりつとしょかんから

ねんせい
1ねんせい・2年生のみなさんへ

なつのおてがみ



としょかんへ
いこう!

『ごろべえ もののけのくにへいく』

おおとも やすお/作・絵
童心社



むかし、にっぽんいちつよい「ごろべえ」というさむらいがいた。ごろべえにはひとつ、こまったことがあった。いちども「こわい」とおもったことがなかったのだ。てらのおしょうさまにそうだし、もののけのすむくにへいくが、まったくこわくなかった。こまりはてたごろべえに、てらのこぼうずが「こわい」ということをおしえてくれるという。

『なんでもモッテルさん』

竹下 文子/文 アヤ井 アキコ/絵
あかね書房



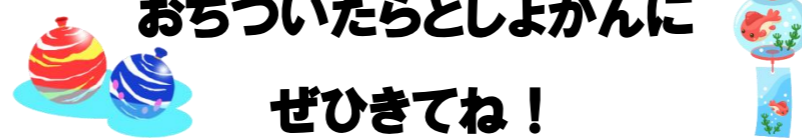
おかねもちのカッテル・モッテルさんとおくさんのマーダさん、テルルちゃんとモットくんは、たくさんものをもっています。でも、まいにち、けんかばかりしています。

あるひものすごいあらしがやってきて、すべてをふきとばしました。4にんとも、たくさんものをなくしたかわりに、べつのだいせつなものをてにいれました。

がっこう
みんな、学校にはもうなれたかな？

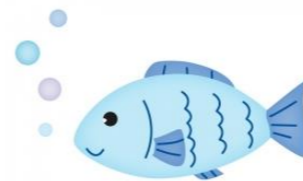
おちついたらとしょかん

ぜひきてね!



『わたしはみんなのおばあちゃん』

ジョナサン・トゥイト/文
カレン・ルイス/絵
真鍋 真/訳
岩波書店



ずっとずーっとおおむかしに、さかなたちみんなのおばあちゃんがいました。このさかなたちのおばあちゃんまごのなかに、はちゅうるいやほにゅうるいのおばあちゃんがあります。そしてほにゅうるいのおばあちゃんまごのなかに、みんなのおばあちゃんがいるのです。いきものしんかについてわかるほんです。

『はたらくくるま300+』

講談社/編 講談社

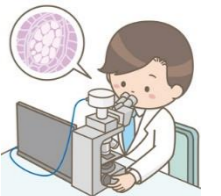


みんなのみのまわりではたくさんのくるま車ははたらいていることはしていますか？いろいろな車がいっぱいばしょではたらいしています。そんなたくさんのはたらく車がしゃしんでしょうかいされています。みんなはどれくらい知っている車がありますか？おとも友だちといっしょにかぞえてみるとたのしいかもしれません。

『ほうさんちゅう』

ちいさなふしぎな生きもののかたち』

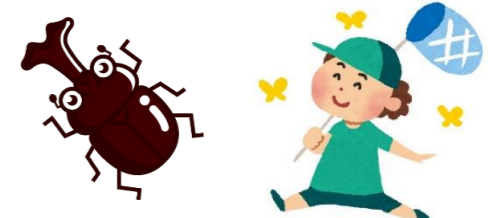
松岡 篤/監修 かんちく たかこ/文
アリス館



ほうさんちゅうってきいたことはありますか？ほうさんちゅううみは海をただよってちい小さな小さな生きものです。5ねんまえおく年前から海にいました。ほうさんちゅうにはいろいろなかたちがあります。とげとげだったり、はちのすのようなものもあります。この本には、ほうさんちゅうほんのふしぎなかたちしゃしんがきれいな写真でのっています。

『なつのおうさま かぶとむし』

ひさかたチャイルド



なつ、ぞうきばやしにいくと、かぶとむしがみつかることがあるよ。かぶとむしってかっこいいね。りっぱなつのもっていて、あしのちからがつよくて、からだぜんたいがかたくて、そらもとべるんだ。このほんで、かぶとむしのひみつをしらべてみよう。かぶとむしのさがしかたや、つかまえかたのものっているよ。

『きのこのばけもの』 -日本民話-

唯野 元弘／文
石川 えりこ／絵
すずき出版

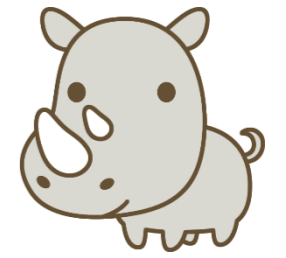


むかし、あるむらで、ふしぎなできごとがおこっていました。よるにつきのひかりがあたらないのです。むらびとは、ばけものがあるせいだとおびえていました。あるひ、やまにでかけたなまけものがよるまでねていると、きのこがむくむくとおおきくなり、はなしかけてきました。そこでなまけものは、ちえをつかってきのこをたいじしました。



『ガンピーさんのサイ』

ジョン・バーニンガム／作
谷川 俊太郎／訳
BL出版

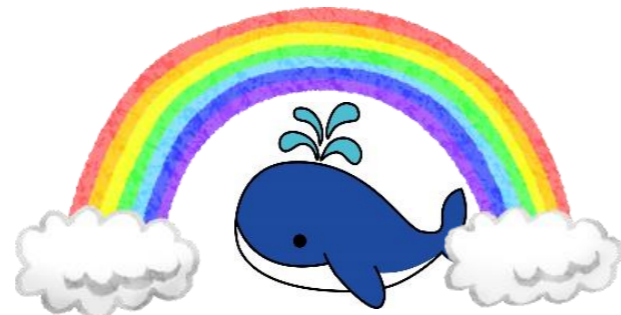


ガンピーさんは、アフリカでツノをなくしたサイのこどもにであつた。そこで、ガンピーさんはおなかをすかせているサイをいえにつれてかえることにした。なまえはチャーリー。チャーリーはまちのためにはたらいて、こどもたちのにんきものに。

「ガンピーさんのふなあそび」でゆうめいなガンピーさんシリーズの3ばんめだよ。

『セミクジラのぬけがら』

如月 かずさ／作 コマツ シンヤ／絵
偕成社



ミッチは道ばたでひろったものをたからものにしてる男の子。ある日、クジラみたいな木のかけらをひろったけどお茶をこぼしてぬらしてしまった！木のかけらは水をすってふくらみだしてまるで小さなほんもののクジラみたいになったんだ。エサはセミのぬけがらでセミみたいになくからなまえはセミクジラってつけたよ。おかあさんにないしょでかうんだ！

『あたまをつかった小さなおばあさんがんばる』

ホープ・ニューウェル／作 松岡 享子／訳 降矢 なな／絵
福音館書店



小さなおばあさんは、あたまをつかうのがとくいです。ぬれタオルをあたまにまき、それから、いすにすわって、ひとさしゆびをはなのよこにあてて目をとじます。するといいかんがえがうかんてくるのです。小さなおばあさんは、いったいどんなかんがえをおもいつくのでしょうか。

ほかにもシリーズがあります。

『どっちからよんでも にわとりとわに』

本村 亜美／文 高島 純／絵
絵本館



にわとりとわに。まえからよんでも、うしろからよんでも、おなじおとです。このようなぶんを、かいぶんといいます。このほんにはたくさんのかいぶんがのっています。ふだんのかいわでもつかえそうなあのぶんが、じつはどっちからよんでもおなじなんてことがあるかも。あたらしいかいぶんをつくってみるのもたのしいですよ！

『こんなとき きみならどうする？』

五味 太郎／作
福音館書店



ページをめくるとたくさんのしつもん。「きみならどうする？」「どれにする？」うーん、まよつてしまう。ひとりでよむときと、みんなで「どうする？」ってそうだしながらよんでいるときはこたえもかわる。きのうよんだときと、いまのきもちもなぜかちょっとちがう。わたしたちは、まいにちなにかをえらんでいきている。